



1974年
START

東洋水産最初のカップ麺
「ホットラーメン しょうゆ味」
1974年発売

当時の東洋水産の成長には、カップ麺市場への参入は必須でした。ホットラーメンから始まった縦型カップ麺は、その後、「L.L. ノードル」(1984年)、今も販売を継続している「ホットノードル」(1992年)、「本気盛」(2007年)などを経て、2017年発売の「MARUCHAN QTTA」へと引き継がれています。

愛されて **50** YEARS 周年
マルちゃんの
カップ麺

1974年、東洋水産最初のカップ麺「ホットラーメン しょうゆ味」が発売されました。東洋水産のカップ麺の歴史はここからスタートし、今年で50周年を迎えます。今後もさらなる進化を続け、食卓に笑顔をお届けします。



MARUCHAN QTTAシリーズ

NOW

● 海外の MARUCHAN

1972年12月、米国カリフォルニア州にマルチャンインクを設立し、日本からの輸出・販売を開始しました。当初は袋麺の輸出だけでしたが、1977年3月カリフォルニア州アーバインに工場を建設し、袋麺とカップ麺の製造を開始しました。現在では米国内に4つの製造工場があり、販売先も米国の他、中南米など20を超える国々にマルチャン商品を輸出しています。メキシコでは1989年より事業を開始し、米国とともに高いシェアを誇る人気商品となっています。



1977年
START



Soup 'n Noodles

NOW



Instant Lunch シリーズ

Instant Lunch Select シリーズ

● 新市場の開拓!

1975年和風カップ麺の発売

1970年の発売以来人気を博していた即席袋麺「天ぷらそば」の姉妹品として、「カップ天ぷらそば」を1975年2月に先行して東北、近畿圏の一部で、8月に首都圏で発売しました。9月には関西では縦型カップの「カップきつねうどん」、関東では丼型カップの「カップうどんきつね」を発売し、和風カップ麺という新市場を開拓しました。1978年に「カップきつねうどん」「カップうどんきつね」が「赤いきつねうどん」に、1980年には「カップ天ぷらそば」が「緑のためき天そば」にそれぞれリニューアルし、現在もお客さまにご愛顧いただいています。こうした新しい市場へのチャレンジ精神を受け継ぎ、次世代へとつないでいきます。



1975年
START



カップきつねうどん



カップ天ぷらそば



カップうどんきつね

NOW



緑のためき天そば



赤いきつねうどん